



ることの多かつた協力隊員たちは、これからやつてくる厳しい冬の到来を前に気が引き締まる思いです。そんな隊員たちもそれぞれの目指す活動を始めたことで、新しい課題や発見も見えてきていますが、下を向くことなく前向きに取り組んでいこうと新しい可能性を模索しながら日々の業務に取り組んでいます。

今年はコロナの影響で矢祭町も例外でなく秋のイベントの中止が相次いでいますが、残り少ない秋の期間を充実させるべくそれぞれの活動に邁進していきます。

地域おこし協力隊マガジン

冬の訪れの前に 次のステップへ

第3号

矢祭町 ゲストハウスプロジェクト
地域おこし協力隊による
活動報告と自己紹介を兼ねた
フリーペーパーです
2020年10月16日発行

2020年10月16日発行

「ストハウスプロジェクト 地域おこし協力隊 マガジン

矢祭人インタビュー

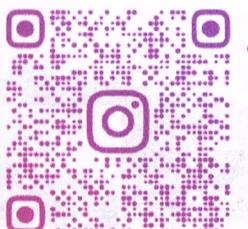
「まち冒険キーマンSTORY」

<https://machibouken.jp/yamatsuri/>



地図おこし協力隊メンバーが、矢祭町で頑張っている人やおもしろいことをしている人を取材し、「まち冒険キーマン STORY」で、その取り組み内容や想いを紹介します。

100



インスタグラムはじめました
やまつりぐらし
yamatsuri_life

矢祭の景色や行事、日々のくらしに感じる魅力を発信します。



隊員紹介 Q&A

[今月の質問]

あなた的心に残る一冊は？



ゲストハウスプロジェクトって?

地域おこし協力隊による、矢祭町の3つの地区「内川・東館・東山」でのゲストハウス立ち上げを目指しています。ゲストハウスと言えば、バックパッカーなどの旅行者が利用する安価な宿泊施設というイメージが強いかもしれません、近年、オーナーの思いが詰まった様々なゲストハウスが誕生しています。わたしたちが目指すゲストハウスは「地域内外の交流の拠点」。外から来るお客様はもちろん、地域のお年寄りから子供まで気軽に立ち寄れる場所であり、矢祭町の魅力を発信する場所であることを目指しています。

地域おこし協力隊 ゲストハウスプロジェクト
矢祭町役場 事業課: 0247-46-4576



活動をお知らせ
しています



「鮎の塩焼き」

人生初、鮎を食べました。
見るからに熟々の鮎に
がぶりとかぶりつくと…オイシー！！
香ばしくて、ふわふわと柔らかい身。
これが清流の女王…！
私ははらわたをよけましたが
コレが大好き！という方も
いらっしゃるようですね。
苔を主食とする草食の鮎だからこそ、
はらわたもおいしく食べられるそうです。
苦味をおいしく感じられたら…通？



三度の飯より飯が好き!
井上のやまつりめし

去る10月5日に狩猟免許試験を受験してきました。狩猟免許試験は午前中に学科試験と適性検査が行われ、その合格者が午後から行われる実技試験を受験できるというシステムがとられています。ぼくは午前中の学科試験と適性検査は突破することができたので、実技試験に合格できていればハンターの仲間入りということになります。ただし、この記事を書いている段階では、まだ合格発表はされていないので実際のところどうなっているのかはわかりません。個人の手ごたえとしては、おそらく大丈夫と大見え切っておきます！来月報告しますが、落ちていたら盛大に笑ってやってください(笑)

△最年少/
佐瀬BOYの
毎月
チャレンジ
[第3回]

狩猟免許取得への道!
手応え
アリ!



近藤ぶらり旅

こんにちは、旅行好きの近藤です。
福島県を中心に、私が出かけた場所を
写真とともに紹介していきます！



五色沼

1888年、磐梯山の噴火によって誕生した五色沼湖沼群。自然探勝路を進むと、エメラルドグリーンやコバルトブルーなど色とりどりの沼が森の中に点在しており、神秘的でその美しさに惹きつけられます。季節や天候、時間帯などによっても、少しづつ違った色に見えるそうなので、何度も訪れたい場所です。

鮎の町として、町の方々が口にする機会を増やし、鮎を盛り上げていこうと「やまつりまち・ひと・みらいづくり協議会」が行う活動のひとつが鮎の投網漁。協議会の事務局でもある「まちの駅やまつ

みなさん、鮎を食べたことはありますか。矢祭町には久慈川が流れています。慈川、そしてそこで育まれる鮎ですが、町の方に実際お話を伺うと、鮎を食べる機会はなかなかないようです。

鮎の町として、町の方々が口にする機会を増やし、鮎を盛り上げていこうと「やまつりまち・ひと・みらいづくり協議会」が行う活動のひとつが鮎の投網漁。協議会の事務局でもある「まちの駅やまつ

みなさん、鮎を食べたことはあ

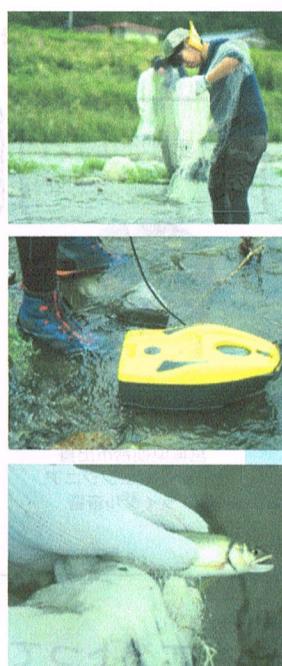
りますか。矢祭山駅のそばでは塩焼きの鮎を食べることができます。そんな矢祭を象徴するような久慈川、そしてそこで育まれる鮎ですが、町の方に実際お話を伺うと、鮎を食べる機会はなかなかないようです。

鮎の町として、町の方々が口にする機会を増やし、鮎を盛り上げていこうと「やまつりまち・ひと・みらいづくり協議会」が行う活動のひとつが鮎の投網漁。協議会の事務局でもある「まちの駅やまつ

鮎を捕る・鮎を食べる－久慈川で投網を打つ－



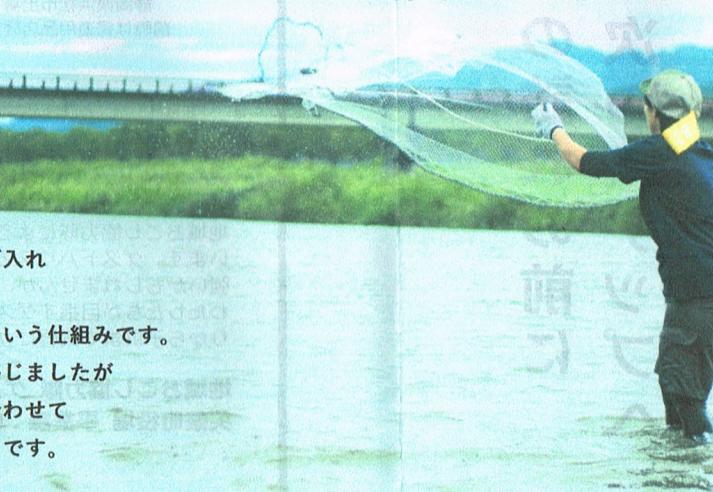
漁協の方の指導を受けながらまずは地面で練習です。



魚がいそうな場所に網を投げ入れ
おもりがついた網が沈み
袋状の網に鮎が逃げ込む…という仕組みです。
丸く広げるのさえも難しく感じましたが
熟練されている方は場所に合わせて
広がる形を調整して打つそうです。

り」や漁協の方々の協力を得て、網を持つのも初めての（なかなかないですよね！）地域おこし協力隊が漁に参加しました。捕つた鮎は給食センターで調理され、町の子どもたちに食べてもらう予定だそうです。広報「やまつり」に掲載されている宅配サービス「買つてくつ便」では、「あゆ飯のもと」の販売をはじめたそうです。

土地のものをその土地でいただく。自然な流れだけれども、とても贅沢なことのようにも感じます。鮎漁の季節はそろそろ終わりですが、来年も継続して参加できればと思います。



T23UD
影山のピックアップソング

「君はロックを聴かない」「ハルノヒ」

the song by あいみょん

今日は拡大版につき2曲ピックアップしました。私が日本で一番好きなアーティストです！今回ご紹介するこの2曲は、男目線で恋心を歌つたものです。どうして20代前半の女性が、不器用な男の恋心をこんなにうまく表現できるのだろう？と不思議に思ってしまいます。

あいみょんの一番有名な曲であろう「マリー・ゴールド」は、よりアーティスティックで絵画的な感じがある一方、この2曲は曲の進行と共に時間が流れ、物語性が強いです。映像が浮かぶような情景描写の中に「僕」の心情を散りばめています。

「君はロックを聴かない」は曲が進むにつれて「君」に対する「僕」の気持ちが露わになっていきますが、一番を聴いただけでは、その関係性は色々なふうに解釈できます。それが

「君はロックを聴かない」よりも関係の進んでいる「君」と「僕」とのこれから未来を明るく思い描いています。私は、この曲の二番の歌詞を嗜みしめながら聴くと必ず泣きそうになります。懐かしく温かい曲です。

あいみょんは、年代も性別も超えて、日本人特有の感覚を大切にして、青春の美しさを表現できる数少ないアーティストだと思いました。

もうそれでお仕舞。内側が表で、外側は裏じや。裏は適当がよい。だから器の内側、茶碗では「見込み」というが、それが第一で、器の本質じゃ。たった5センチの広さで深さ1センチの見込みが、なんとも大きな空間を抱いていることか。小さくとも輝く、とはこのことかな？



『広報やまつり』にこの手元焼で作られた「たんころ」の昔の話を載せてもらつたので、ここでは器の形、造形についての話じゃ。

この陶器を作つた人は外側なんぞ見てただ器の内側が良く出来れば、口クロを引いておらんのじや。

もうそれでお仕舞。

内側が表で、外側は裏じや。

裏は適当がよい。

だから器の内側、茶碗では「見込み」というが、それが第一で、器の本質じゃ。

たった5センチの広さで深さ1センチの見込みが、なんとも大きな空間を抱いていることか。

小さくとも輝く、

とはこのことかな？

川瀬 陶器好きの爺さんの話